

公共施設マネジメントの取組

～費用とサービスの最適なあり方を目指して～

府中市 行政管理部 建築施設課

公共施設マネジメント担当副主幹
日原 治人

公共施設とインフラで異なる手法

どちらも維持及び更新に費用がかかるが、マネジメントを進める手法が異なるため、公共施設とインフラを分けて取り組む。

(公共建築物)
公共施設



学校



文化センター



美術館

マネジメント

(都市基盤施設)
インフラ



道路



下水道



公園

公共施設マネジメントとは

- これまでの施設の「管理」や「整備」からの転換

● ● 個々の最適化

各施設が、それぞれ必要とする規模、機能を検討し、実行する



● ● 全体の最適化

市の施設全体を捉え、各施設で必要となる規模、機能を検討し、実行する

● ● 事後保全

各施設で、不具合が発生してから対応する



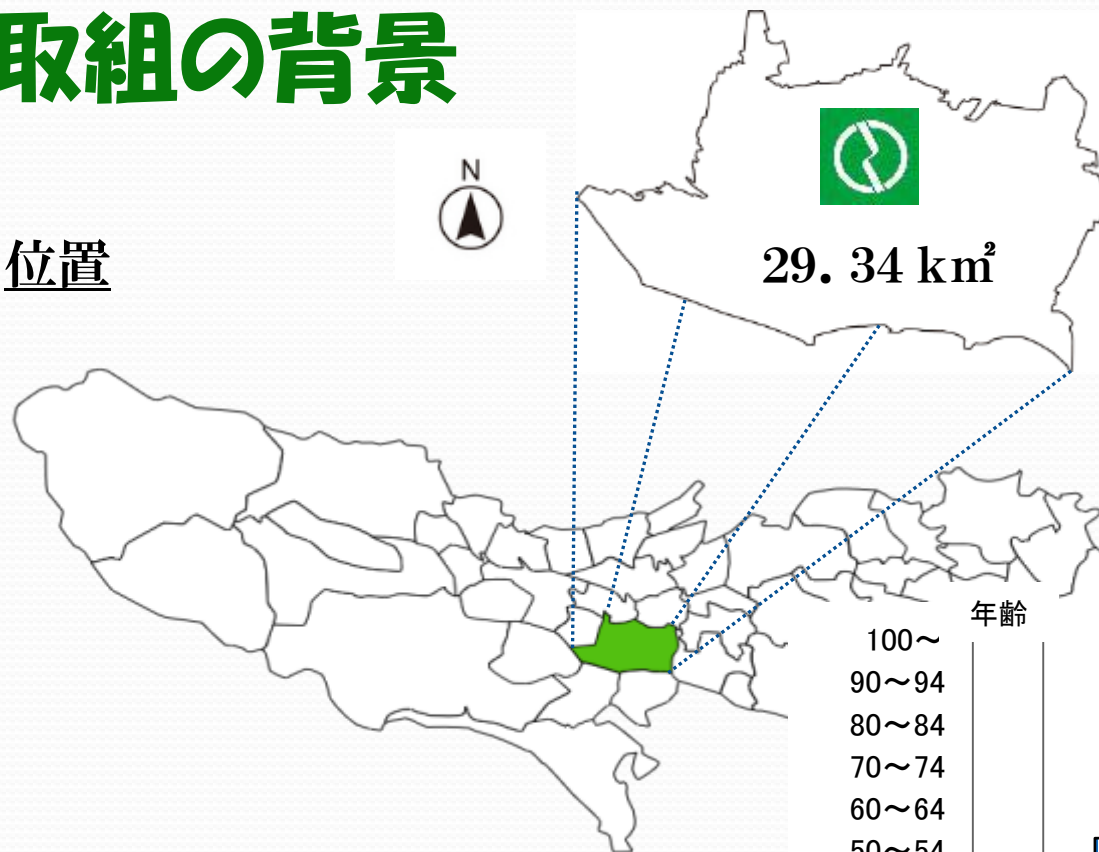
● ● 計画保全

長期的かつ全体を見渡し、計画的に対応する

- 公共施設を「資産」として捉え、効率的な活用を図り、最小の費用で最大の効果を生み出すことを目標に取り組む。

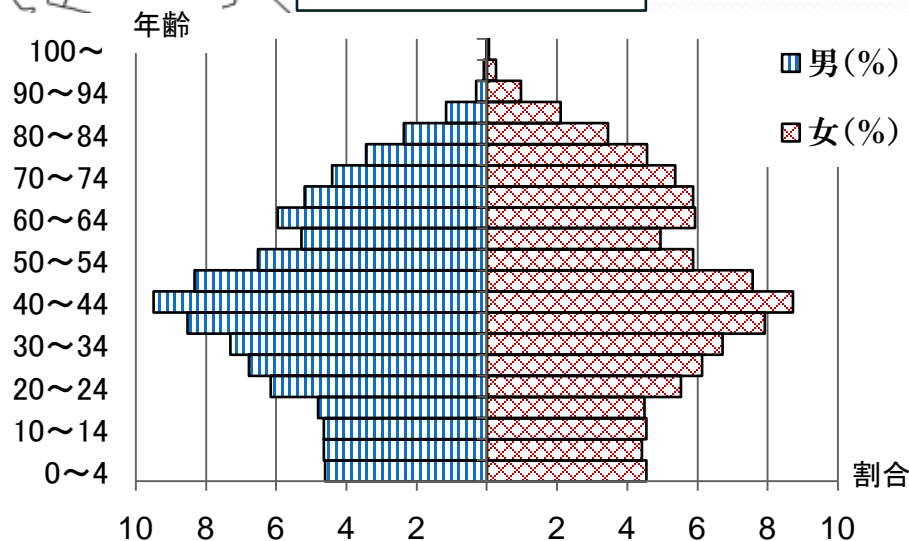
取組の背景

位置



国指定天然記念物
馬場大門のケヤキ並木

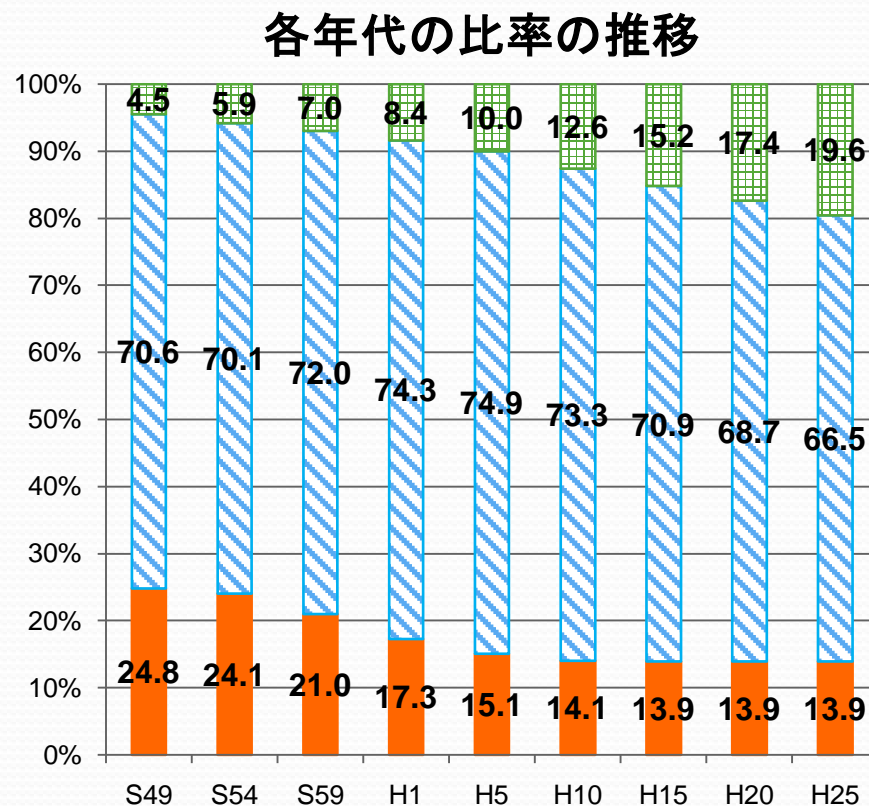
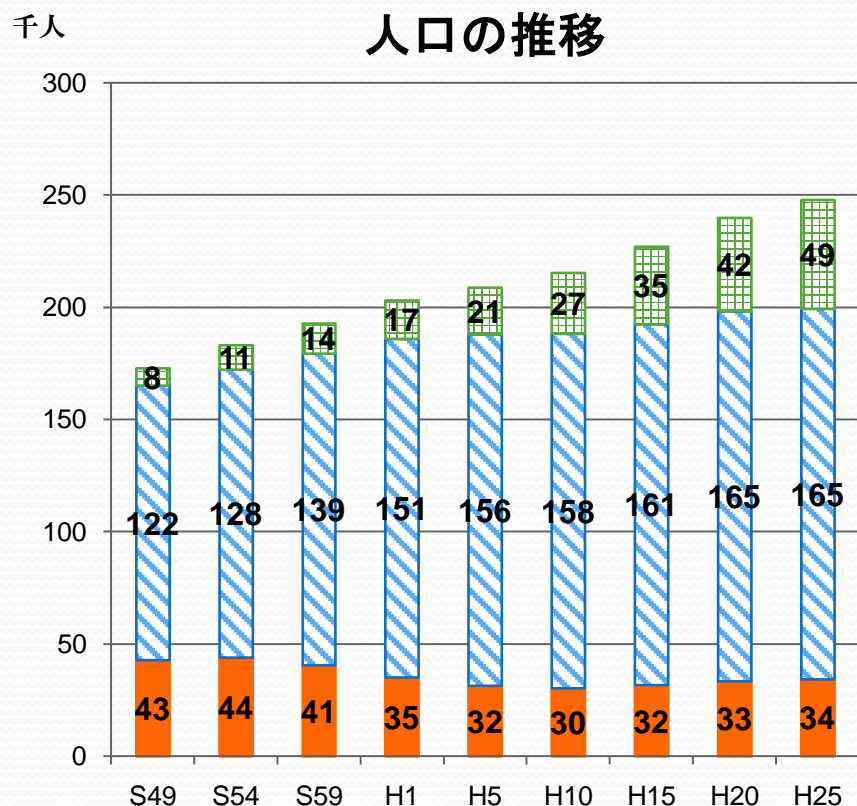
人口ピラミッド



人口 253,530人
(H25. 10. 1現在)

背景1 人口

- 人口の推移(5年ごとの実数、全体に占める各年代の比率)
人口は一貫して増加するものの、着実に少子高齢化は進む。



背景2 財政

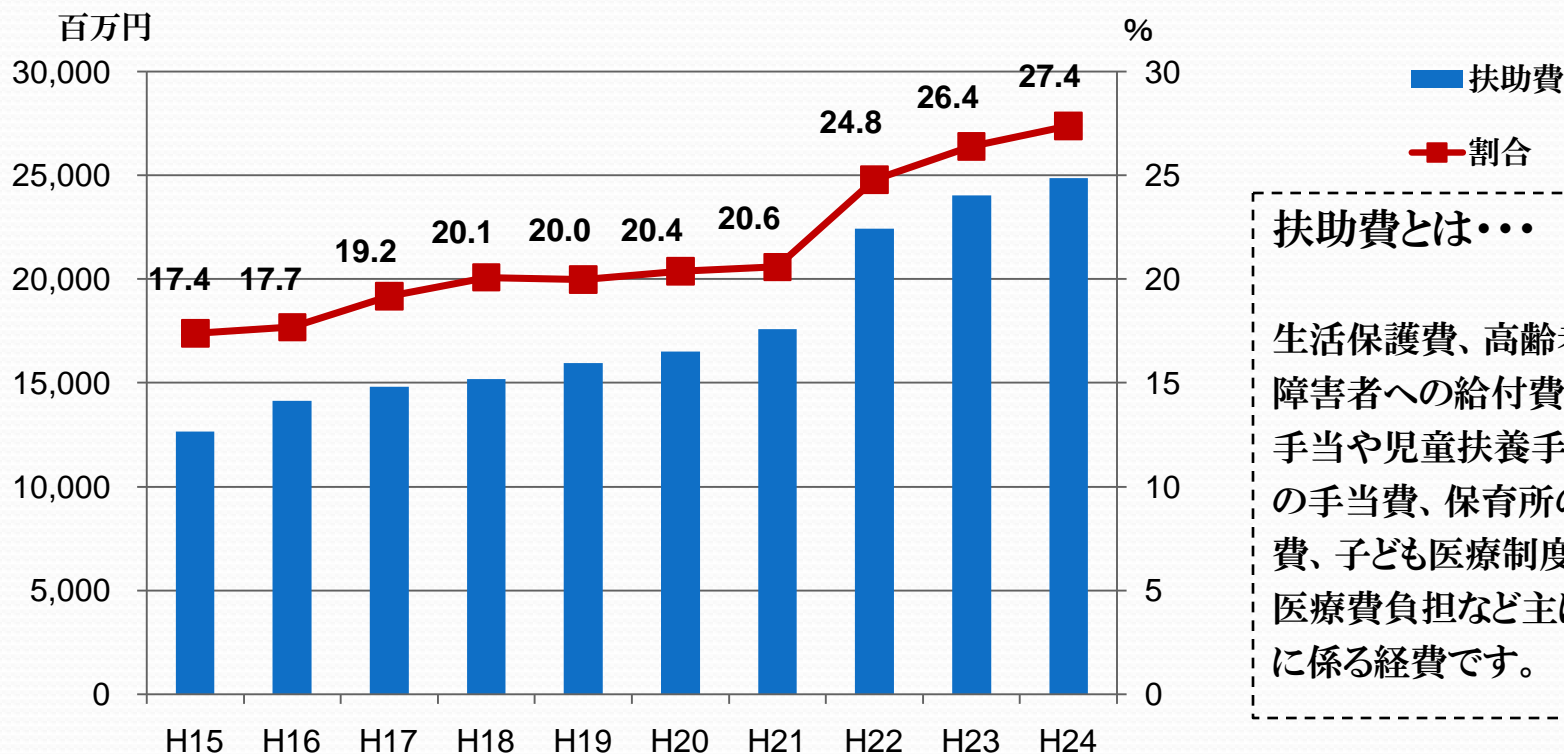
- 財政力指数 1.1
- 経常収支比率 88.6%
- 実質公債費比率 6.2% (H24決算より)

各種指標は良好だが、今後、更なる扶助費の増加、公共施設の老朽化への対応が見込まれ、財政状況が急速に悪化する恐れがある。

今後も市の魅力を維持しながら、公共施設マネジメントを推進していくためにも、選択肢が残されている、財政状況が良好なうちに取り組む必要がある。

(参考1)

- 扶助費の増加、歳出(普通会計)に占める割合の推移
近年の伸びは大きく、歳出全体の30%近くを占める。



扶助費とは・・・

生活保護費、高齢者や障害者への給付費、児童手当や児童扶養手当などの手当費、保育所の運営費、子ども医療制度での医療費負担など主に福祉に係る経費です。

各年度決算数値より作成

(参考2)

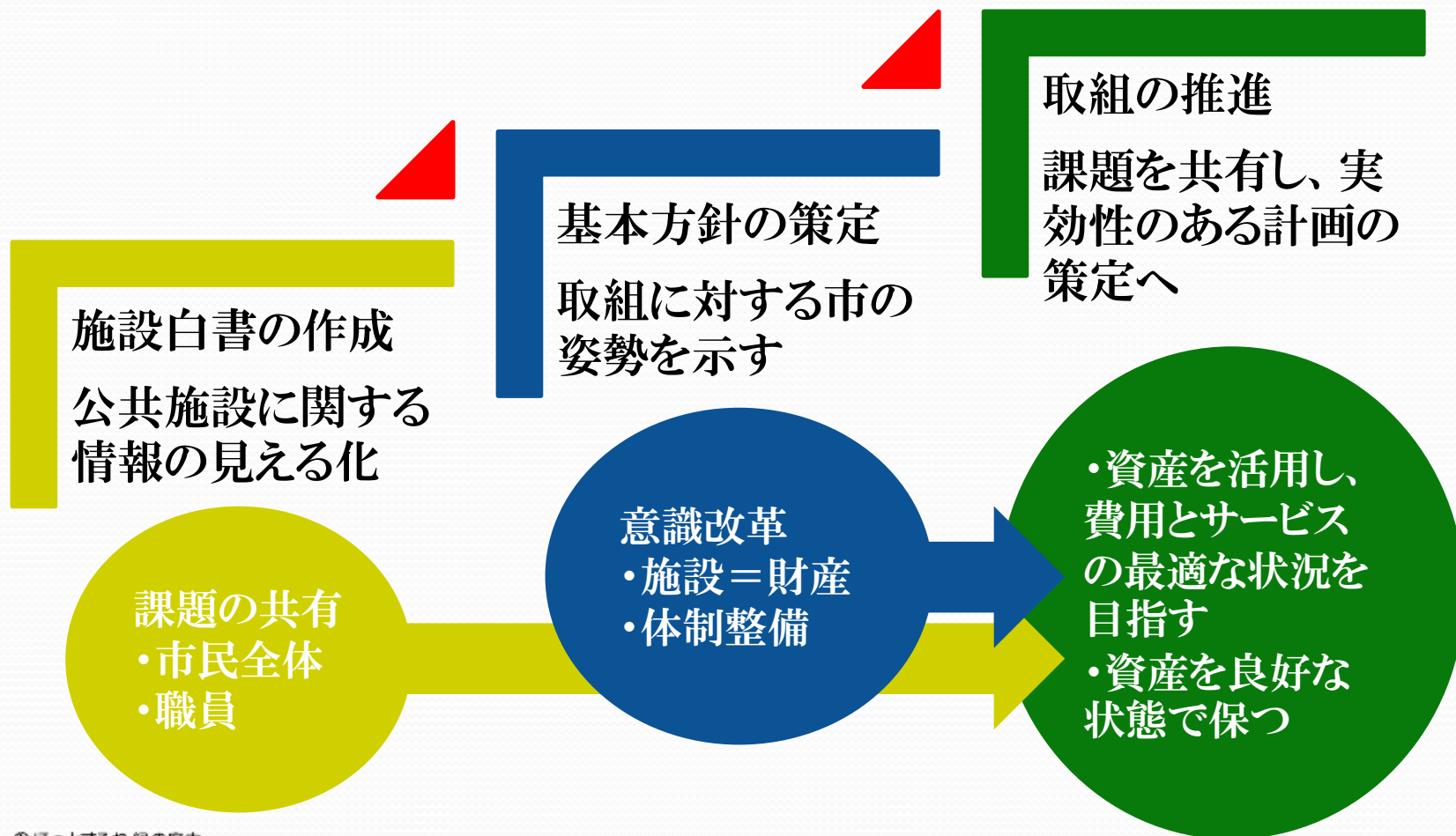
● 競走事業特別会計からの 繰出金総額の推移

大田区平和島で行われているモーターボート競走事業を開催

売上減少に伴い繰出金は減少、平成24年度は2億円



公共施設マネジメントの3ステップ(第3段階)



今後の公共施設の更新コスト

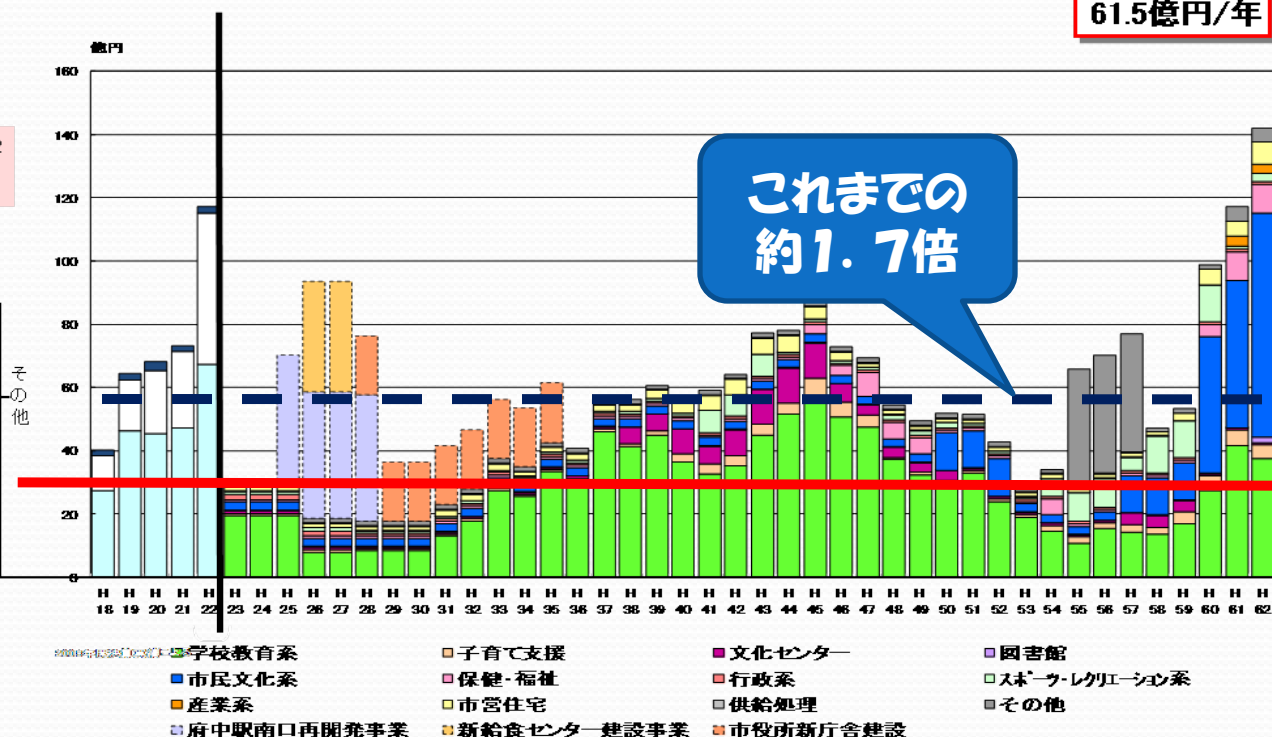
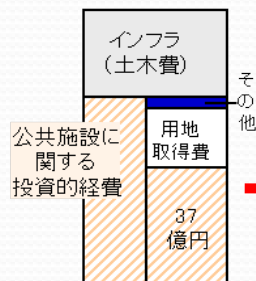
府中市公共施設マネジメント基本方針より

施設用途別

40年間平均

61.5億円/年

平成13～平成22
年度の平均
投資的経費
101億円



今後40年間の
年平均費用

62億円

25
億円

37億円

過去10年間の
年平均費用

- 維持及び更新にかかる費用の不足は明らか → **どうする？**

府中市公共施設マネジメント基本方針

平成24年5月策定

3つ

の視点を持って取り組む

5つ

の方策を掲げて取り組む

(視点)

- 1 公共施設を資産と捉えた維持管理及び活用における効率性の追求
- 2 長期的に健全財政を維持するための仕組みの整備
- 3 市民・地域の状況の変化への対応

推進するための5つの方策

①施設の総量抑制・圧縮

②財政バランスの維持に向けた手法の検討

③機能に着目した施設の有効活用

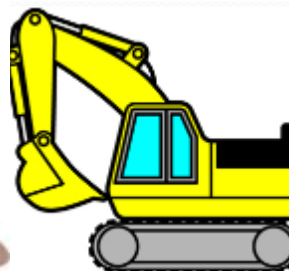
④全庁を挙げた体制の整備

⑤課題を市民と共有し、市民等との共通認識に基づく協働

①施設の総量抑制・圧縮

- 新たに施設を整備したら、同程度の床面積を削減 = **抑制**

新設
〇〇㎡



既存施設
〇〇㎡

- 既存施設は、複合化や統廃合 = **圧縮**



市民会館



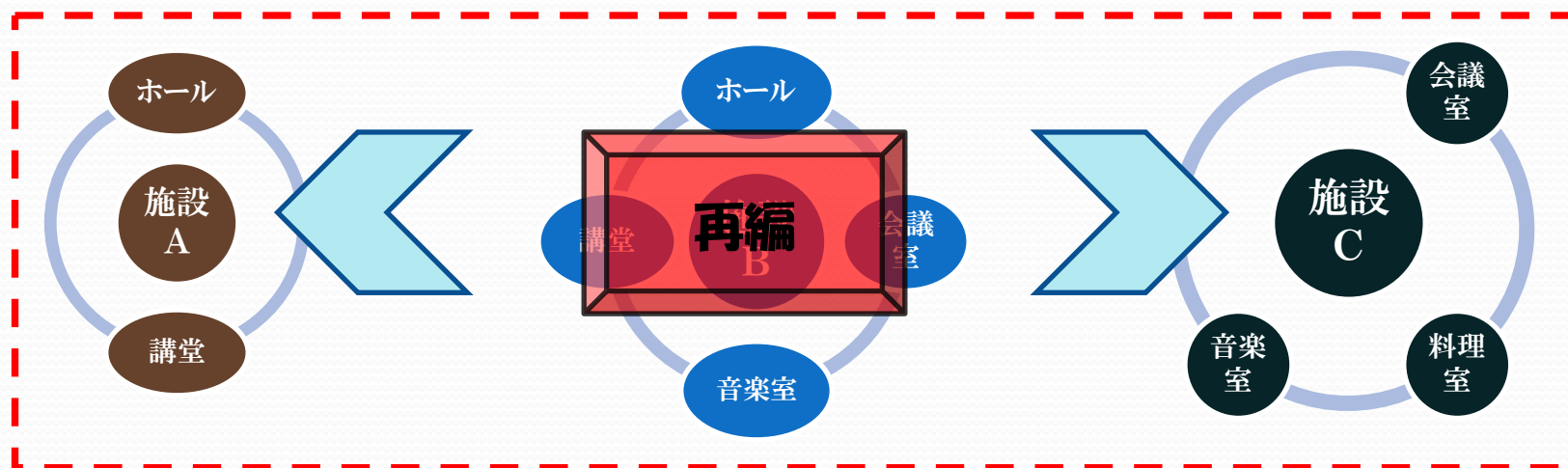
図書館



複合施設

③機能に着目した施設の有効活用

- サービスの向上のため、既存施設の共用化
- 各施設が連携し、補完し合うことによる公共サービスの提供
- 長期的なニーズの変化に対応できるように施設を整備



市全体の施設でニーズを満たす

⑤課題を市民と共有し、市民等との共通認識に基づく協働

- 情報を「見える化」することによって、市民と課題を共有し、公共施設マネジメントの推進につなげる

公共施設マネジメント
白書



パンフレット



説明会など



これから第3段階へ！



取組の推進

課題を共有し、実効性のある計画の策定へ

基本方針の策定

取組に対する市の姿勢を示す

施設白書の作成

公共施設に関する情報の見える化

課題の共有
・市民全体
・職員

意識改革

・施設＝財産
・体制整備

・資産を活用し、費用とサービスの最適な状況を目指す
・資産を良好な状態で保つ

公共施設・インフラに関する市民アンケート

20歳以上の市民3,000人(無作為抽出)を対象に、本年9月～10月に実施。

回答率 38.2%(1,146人)

公共施設について

選択枝	賛成率
PPP(公民連携)	84%
長寿命化	81%
売却・貸付	80%
統廃合・多機能化	79%
広域化	66%
使用料値上げ	56%
サービス水準引き下げ	49%
地域への移管	44%
増税	17%

インフラについて

選択枝	賛成率
売却・貸付	87%
PPP(公民連携)	81%
長寿命化	76%
広域化	72%
軽微な劣化を容認	62%
サービス水準引き下げ	46%
統廃合	45%
地域への移管	42%
手数料値上げ	40%
増税	18%

※ 賛成率とは、「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」の合計

公共施設マネジメントの推進

今後、「最適化」と「計画保全」の2つの
考え方を軸に展開

良好な状態
適切な規模

将来

現在

公共
施設

協働

計画
保全

公共施設
マネジメント

最適化

推進力

ご静聴ありがとうございました

続いて、インフラマネジメントについてご説明いたします。

※ 府中市公共施設マネジメント白書や、府中市公共施設マネジメント基本方針は市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/shisei/kekaku/koukyousisetumanejimenntonotorik/index.html>

府中市 公共施設マネジメント



公共施設マネジメントのお問い合わせは、

府中市 行政管理部 建築施設課 公共施設マネジメント担当

TEL 042-335-4358

E-mail kenchiku04@city.fuchu.tokyo.jp